



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御薊町長屋1963

(株)エホリューション内 (☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006)

E-mail info@3c-mie.net <https://3c-mie.net/>



多くの組織・団体で年度が替わり、心新たにスタートされ、慌ただしい日々が続いています。組織構成が変わったり、人事異動で担当が変わったりして当事者だけでなく多くのステークホルダーも戸惑うことが多くあります。しかし、これまでの事業や活動は継続されますから、今月は落ち着くまで少し時間が必要ですね。おかげさまで私たちの活動も5年目に入ります。この間、法人・個人会員を含め100会員を超えました。限られた体制での取り組みの中、少しずつですがご縁の輪が広がってきました。地域の困りごとや課題を会員相互で解決していく仕組みを更に修練していきたいと思えます。引き続きみなさんのご協力を宜しくお願いいたします。

さて、今回はJR東海として県内で初めて、駅舎の跡地に町が新たな駅舎と併設した交流施設を整備し、4月にオープンした「田丸駅交流施設」について玉城町まちづくり推進課中川泰成課長から紹介いただきます。



玉城町まちづくり推進課
課長 中川 泰成 氏

JR 東海三重県下初、駅敷地内での駅舎併設町施設づくり

玉城町はJR参宮線沿線の「田丸駅(たまるえき)」がまちの中心部に位置し、大正元年から110年余にわたって通勤通学やまちのにぎわいを支えてくれました。

町内には高校がなく、中学を卒業すると多くの子どもたちが田丸駅を利用します。最近の日平均乗車数は500~550人程度で、ここ10年程度は横ばいか微減で推移しており、今もなお地域住民の最も重要な交通手段の一つとなっています。

しかしながら老朽化の波には抗えず、令和に入ってから駅がなくなる話が浮上してきました。駅周辺には県指定文化財で続日本100名城に選ばれた「田丸城址」や平成29年に復元を遂げた町指定文化財「玄甲舎(げんこうしゃ)」が点在し、今年世界遺産登録20周年を迎える熊野古道伊勢路が通り、歴史文化漂うエリアとなっています。

町内では、利便性の低下だけでなく、駅舎がなくなることはまちの活力が失われるのではないかといった不安感が漂っていました。

そこで、町では旧駅舎の耐震診断を行い耐震性が十分でないことを確認したうえで、JR東海と幾度となく相談を重ね、新たに「駅交流施設」を整備することとしました。



before



after

新たな施設は、これまでの駅の待合に加え、交流人口や関係人口、地域住民など様々な人々が気軽に集いつながる地域交流の拠点となることをコンセプトに進めました。

建設にあたっては、内閣府の地域再生計画の認定を受け、国の地方創生の補助金を活用しています。これまでに施設の整備に向け、どう進めるか検討を重ね、町では利用者アンケートや住民ワークショップなどの意見を踏まえ、大きく3つの方針を立てました。

☆その1：意匠を引き継ぐ…

構造は木造瓦葺の平屋建てとし、朱色の柱や外壁に鎧囲いを採用、また旧駅舎の象徴とも言える扉と駅看板を再利用しているほか、屋外には束石と植え込み周辺に旧駅舎のレンガを使用しています。

☆その2：有人化を実現する…

事務所には玉城町観光協会が入居し、観光案内所を設けデジタルサイネージなどを活用しながら年間を通して町内外からのお客

様をもてなせるよう体制を整えています。

☆その3：地域交流の場とする…

施設にはどなたでもご利用いただける多目的交流スペースを設け、空調設備や無料 Wi-Fi を整備しています。また展示会などにご利用いただけるよう施設全体にピクチャーレールを設けています。

ここまで順調に整備が進んだことは、JR東海や住民ワークショップでご指導いただいた三重大学建築学部教授、地域や関係者皆さまのご理解、ご協力のおかげです。

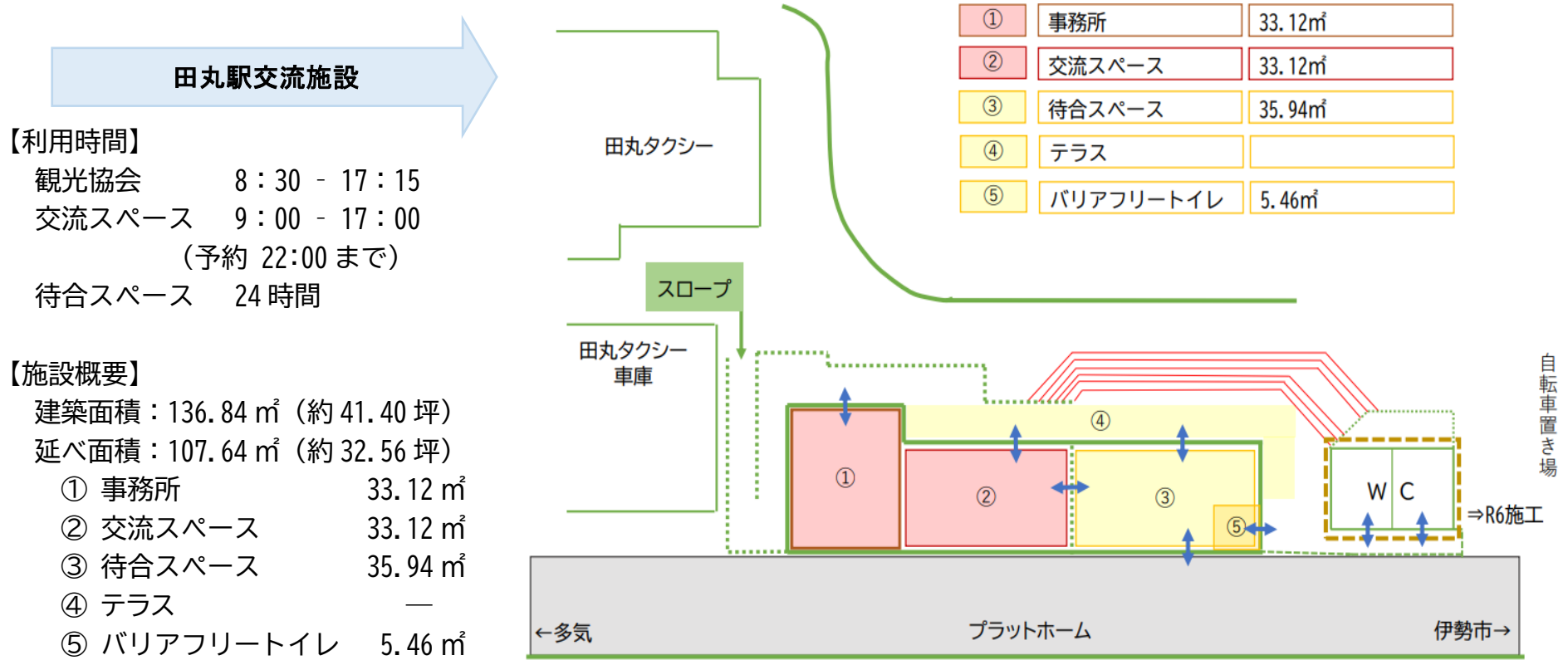
また、田丸駅問題検討の当初から住民主体で結成された「田丸駅でつながるまちづくり協議会」のみなさんが大変熱心に盛り上げる活動を進めていただきました。

担当者としては、こうした後押しがあり、大変心強く事業を進めることができました。改めて感謝申し上げます。

4月3日にはオープニングセレモニーを開催し田丸駅の新たな歴史がスタートしました。今年度は既存トイレをJR東海から譲り受けリニューアルすることを予定しています。

また、駐輪場の再整備も検討したいと考えています。駅交流施設に人が集い、まちに賑わいが創出されるよう引き続き様々な取り組みを推進していきます。

みなさん是非、「田丸駅交流施設」を見に来てください。



【利用時間】

観光協会 8:30 - 17:15
 交流スペース 9:00 - 17:00
 (予約 22:00 まで)
 待合スペース 24 時間

【施設概要】

建築面積：136.84 ㎡ (約 41.40 坪)
 延べ面積：107.64 ㎡ (約 32.56 坪)
 ① 事務所 33.12 ㎡
 ② 交流スペース 33.12 ㎡
 ③ 待合スペース 35.94 ㎡
 ④ テラス —
 ⑤ バリアフリートイレ 5.46 ㎡

【施設の特徴】

- ✓ 意匠の継承 → 旧駅舎を模したデザインの採用 / 旧駅舎資材の再利用
- ✓ 有人化の実現 → 観光協会の入居, スタッフの常駐
- ✓ DX化の推進 → デジタルサイネージ / フリーWi-Fi の設置
- ✓ 交流の場の創出 → 空調整備 / フリースペース等の設置
- ✓ 施設のバリアフリー化 → スロープ / バリアフリートイレの整備
- ✓ 魅力発信設備の設置 → 特産品販売機 / デジタルサイネージの設置 など



トピック 交流会「学びのトークサロン」を開催しました

3月9日(土)津市内レストランにて、食事を取りながらの交流会を開催しました。
 ご参加いただいたみなさんは、医療系、工業系、農業系と多種多様なジャンルでご活躍いただいていることから、有意義な交流を図っていただけたと思います。ご参加のみなさん、ありがとうございました。



地域連携ネットワークみえ交流会

学びのトークサロン

みんな集って **終了しました**

思い思いのテーマで語り、一緒に語らう中で、見つかる課題、気づき、周囲の方々の考え方や情報を聞き取って、みなさんの中で、今後 取り組まれる方向として、最善の方法が見つかるといいですね

(想定テーマ)
 環境問題、交通問題、防災問題、仕事の悩み、子育ての悩み etc.

日時: 令和6年3月9日
 午後2時30分～

お知らせ

来たる 6月29日(土)、アスト津 にて地域連携ネットワーク交流会を開催いたします。メインテーマは「地域交通について」を予定しています。多くのご参加をお待ちしています